

インディードゥアイガン  
อินดี้ดอว์ไอกัน

...so that may be glad together. (John 3:8)

YDは、タイ語で「ともに喜びのため」を意味する単語の頭文字です

タイ王国チェンマイ日本語キリスト教会を通してのタイ宣教

YD ミニストリー ニュースレター# 5

2018年 イースター号



「マケドニヤに渡って来て、私たちに助けてください。」 使徒の働き 16:9

主のよみがえりを喜び、御名を讃えます。4月はタイの新年でもあります。お祈りとご支援を心より感謝いたします。チェンマイに遣わされて半年が過ぎました。到着直後、ともに労するはずでした主任牧師夫人の病が発覚し、慣れない者が急遽、教会をお預かりすることになりました。祈り課題をどの範囲でお伝えしたらよいか迷う中、ホームページ更新も滞らせてしまいました。

野尻夫人の手術は無事終わりましたが、日本での治療に1年以上を要することとなり、野尻先生ご夫妻は本帰国をご決意されました。嵐のような引っ越しも終わられ、先生ご夫妻と最後まで歩まれるおつもりだったご高齢の兄弟姉妹たちは寂しさの中にあります。エレベーターのない3階での礼拝が厳しくなり、彼らの住む郊外のグループホームでの礼拝開始を願っていた矢先でした。2018年中に、1階で礼拝ができる会堂が与えられるよう、祈り始めています。

毎週の説教と学び会、語学学校と宿題、刑務所伝道、訪問…と、何か新しい予定が入るとたちまち日常が滞るジェットコースターのような毎日ではありますが、主は、救いと真理を真剣に求めるたましいと出会わせ続けてくださり、彼らと出会うために遣わしていただいたのだと励まされています。

休会となっていた教会学校も再開しました。国際結婚された日本人女性の小さなお子さんたちが数人集い、教会を彩り、鼓舞してくれています。

教会と同時に、日本語で開かれている働きが刑務所伝道です。タイで懲役を受けることとなった外国人受刑者たちの助けとなるために、彼らの国のことばで彼らの必要を聞き、福音を語るミニストリーです。2000人規模の施設に7000人が収容されており、死者も出ている過酷な環境下ですが、ここにも、主の救いの熱心を自らの熱心とするキリスト者たちが毎週遣わされています。「ペンテコステの続きを生きているのだなあ・・・」と実感する働きです。

昨年から今年にかけ、チェンマイでご交流のあった日本人女性宣教師たちが、それぞれのご事情で、次々にご帰国を余儀なくされており、寂しさも深いのですが、彼女たちともともに喜び合えるよう、誠実に仕えたいと思います。



走行車線(目安線とのこと)がよくわからない  
チェンマイでの運転



刑務所伝道のメンバー。毎週、  
排気ガスにまみれ、往復2時間の訪問です

<祈り課題>

- ・主任牧師夫妻の本帰国が決定しました。野尻夫人に快復が与えられますように。高齢者の礼拝出席のため会堂移転を必要としている教会の歩みのために
- ・タイ語の学びと運転が守られ、教会と学生生活を両立していくことができますように。チェンマイ在住の求道者たち、日本人受刑者の救いのために
- ・今後も継続して祈りご支援くださる方が増し加えられ、チェンマイでの教会と宣教を継続することができますように

<支援窓口>

YD ミニストリー支援会 郵便振替 00870-6-154230  
支援会お問合せ先 [shimoyamada@mishimagrace.com](mailto:shimoyamada@mishimagrace.com)  
電話 Fax 055-989-7802  
ホームページ <http://www.yd-ministry.christian.jp/>

(「YD ミニストリー」で ご検索いただいても ご覧いただけます)  
日本同盟基督教団事務所 郵便振替 00120-5-142886  
(事務所宛は、長谷部愛実への指定献金のみ、ミニストリーに献げられます)